



自衛隊募集相談員委嘱状交付式 ～国を守る自衛官の募集に協力～

●5月25日(木) 場所：七尾市役所

自衛隊募集相談員の委嘱状交付式が行われ、6人の相談員が茶谷市長から委嘱された。任期は2年間で、自衛官志願者に関する情報の提供、自衛隊地方協力本部の行う募集などの広報活動に協力する。

自衛隊石川地方協力本部の山下龍太郎本部長は「少子化などの影響で自衛官の募集は大変ですが、ご協力いただきたい」とあいさつすると、今年度から相談員に委嘱された杉木勉さんは「国を守る自衛官を1人でも多くするため、国民の1人として協力したい」と意気込んだ。



なかよし花壇造成式 ～きれいな花と優しい心を育てる～

●5月18日(木) 場所：和倉こども園

市人権擁護委員協議会は、園児たちに花の世話を通して思いやりの心を持ってもらおうと、花苗70本を寄贈した。園の横には「なかよく、かばいあい、よい子、しあわせ」の頭文字をとって名づけられた「なかよし花壇」が造られ、年中と年長の園児16人は力を合わせて花苗を植えた。

中村洋子副会長は「仲良くお花を育てて、みんなに優しい心を持ってもらいたい」とあいさつし、年長の釜井千嘉君は「友達と仲良くお世話したい」と笑顔で話した。



バケツに稲の苗を植えよう ～お米を育てて食べ物大切さを学ぶ～

●5月9日(火) 場所：朝日小学校

今年で2回目の実施となる通年授業「お米博士になろう」の一環として、八田町の米農家である石井昌嘉さんが講師を務め、5年生28人がバケツに「ゆうだい21」の苗を植えた。

児童らは、植え方や育て方を熱心に質問。石井さんは「最も重要なことは愛情を持って育てること。米の成長過程を楽しんでほしい」と笑顔で指導にあたった。9月初旬に刈り取り作業をする予定で、吉田煌我くんは「自分で育てたお米を食べるのが楽しみ」と声を弾ませた。



客船「にっぽん丸」が4年ぶりに七尾港入港 ～七尾の魅力を楽しんで～

●5月2日(火) 場所：矢田新第一ふ頭

商船三井客船株式会社のクルーズ客船「にっぽん丸」が、平成31年4月以来、4年ぶりに入港し、七尾みなとこども園と東みなとこども園の園児ら約50人や、七尾商工会議所女性会の会員が「ようこそ七尾へ」と乗客らを出迎えた。

歓迎セレモニーで茶谷市長は「一言で語りつくせないほど魅力溢れる七尾を、五感で感じてほしい」とあいさつ。乗客は、能登島などを巡る市内半日観光や、開催が迫った「でか山」の飾り付けと試し曳きを見学し、七尾でのひとときを楽しんだ。



七尾市小学生連合運動会 ～青空の下、記録に挑戦～

●5月31日(水) 場所：七尾市城山陸上競技場

七尾市小学校連合運動会が開催され、市内全10校の6年生が、100メートル走や走り幅跳び、400メートルリレーでそれぞれベストを尽くした。

山王小学校の堀彩夏さんが100メートル走と走り幅跳びの両種目で標準記録を突破したほか、朝日小学校の寺西大心君が100メートル走で、田鶴浜小学校の神谷愛斗君と朝日小学校の中村脩喜君が走り幅跳びで標準記録を超える結果を残した。

保護者のスタンドでの観覧も解禁され、児童たちはたくさんの応援の下、爽やかな汗を流した。



100歳のお誕生日おめでとうございます ～藤岡草子さん～

●5月30日(火) 場所：浜野介護医療院

能登島須曾町で10人きょうだいの次女として生まれた草子さん。同じ町内の藤岡家へ嫁ぎ、町内で小売店を営んでいた。若い頃は船で海を渡って七尾まで仕入れに行ったり、趣味で編み物や書道をしたりしていた。施設に入所後は、レクリエーションなどを楽しみながら過ごしている。

長男の凱茂さんは「心がおおらかで我慢強い母。これからも元気に過ごしてほしい。地域の皆さんに可愛がられて生活してきたので、本当に感謝しています」と話した。



松平健太選手が小中学生を指導 ～プロの技術を楽しく学ぶ～

●5月14日(日) 場所：七尾総合市民体育館

プロ卓球選手で七尾市出身の松平健太選手が、小中学生約50人を指導し交流を深めた。

松平選手は、ドイツ・ブンデスリーグで活躍する上田仁選手と共に、構えやフットワークなど基本動作の要点を説明・実演した後、練習を行う参加者の動きを丁寧に観察し、笑顔でアドバイスを送った。

両選手による1ゲームマッチも行われ、1プレーごとに拍手が送られた。七尾東部中学校2年の牧野響也さんは「動きが速く、一球一球が強く丁寧だった」とプロの技術に目を丸くした。



春の全国交通安全運動出動式 ～交通死亡事故ゼロを目指す～

●5月11日(木) 場所：ミナクル前広場

5月11日から20日までの春の全国交通安全運動の出動式に、七尾市と中能登町で交通安全啓発活動に取り組む17団体、約100人が参加。交通安全キャンペーンレディーによる県知事メッセージの伝達と交通安全推進隊による交通安全宣言が行われた後、参加者全員で交通安全を願い、七尾駅から泰平橋まで行進した。

七尾鹿島交通安全協会の赤喜久造会長が「地域全体で交通安全意識を持ち続けることが大切」とあいさつすると、一同は気を引き締めた。